



令和4年度を振り返って…



さぬき市病院事業管理者・市民病院長 徳田 道昭



令和4年度も昨年度と同様に、新型コロナで明け、新型コロナに暮れた1年でした。新年早々の休日当番日には、念のために設置した“発熱外来”に100人以上の患者さんが受診され、研修医から事務職に至るまで数多くのスタッフが懸命に対応してくれました。一方、病棟の看護スタッフに感染陽性者や濃厚接触者が出て減員になっている所に、福祉施設からCOVID19陽性高齢者の搬入が増えた結果、スタッフの負担は限界に近づきました。

ただ、それよりも一大事なのは、ロシアのウクライナ侵攻が終息することなく続いていることで、遠く離れた場所での紛争とは言いながらも、物価や電気代が上昇し始めていて、病院経営に暗い影を落とし始めています。

さて、新型コロナと戦争の話に隠れがちですが、中央での議論を見ていると、「地域医療構想に基づく病床数削減」や、それに関連した「病院再編と統合」、「医師の働き方改革」の議論が続いています。

しかし、昨年の本誌でも触れたように、感染や災害などの有事には予備ベッドが必要であり、公立病院が果たすべきこの使命を“経営効率”という理由だけで削減して良いものか、また、医師の数が減りつつある現状での“働き方改革”にはどの程度の実効性があるのか、相変わらず大いなる疑問と不安を感じます。

一方、政府のCOVID19対策について気になることは、未だに感染拡大をコントロールできていないにも関わらず、経済の回復を優先させていることです。

もちろん、経済活動が停滞することは、感染症以上に国民生活に悪影響を及ぼすことは理解しますが、このまま感染拡大が続けばやがて“医療崩壊”に繋がることは想像に難くありません。それを防ぐには、若い世代へのワクチン接種を促進しながら、入国する外国人にもマスク着用を要請したり、多人数での屋内飲食を制限したり、今までにわが国が効果を上げてきた方法を駆使することが不可欠と考えます。

言い換えれば、”with CORONA”とは、決して「現状に目を瞑る」ことではなく、「目をよく見開いて、相手の弱点を見抜いた上でコントロールすること」と考えます。

このように考えてみると、「災害対策」や「地域医療」のあるべき姿については、国ではなく地方行政が独自のビジョンを策定し、地域にあった事情で運営することが最善と考えますが、今後の展開を慎重に見守りたいと思います。

クリスマス会



12月お楽しみメニュー



月に1回、お楽しみメニューを院内保育所に提供しています。

12月23日(金)はクリスマスメニューでした。サンタになった管理栄養士と調理師が子供たちに一人ずつ手渡しし、子供たちも喜んでくれました。



11月9日(水)、院内保育所で少し早めのクリスマス会を行いました。サンタさんがやってきてプレゼントを貰ったりと、大変楽しそうでした♡



- ★雪だるまおにぎり
- ★スパゲティサラダ
- ★若鶏照り焼き
- ★卵スープ
- ★苺サンタ



クローバーの会

11月11日(金)、当院正面玄関前にてクローバーの会の皆さんと寒川小学校の生徒さん(総勢40人)がパンジーを植えてくださいました❁ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました!

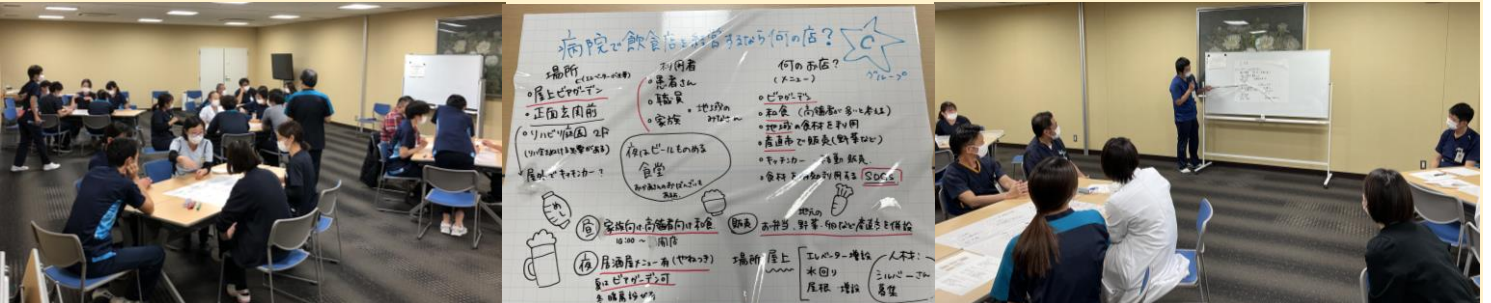


医療技術部 人材育成研修!

医療技術部は6つの科があり、現在88名の職員で組織されています。

COVID-19が発生するまでは医療技術部研修会を毎年開催し、ほぼ全員が参加していましたが、令和元年度からの3年間は大勢が集う研修会を控えてきました。そこで令和4年度はCOVID-19の感染状況や対策期のレベルに注視しながら、令和4年11月30日(水)と令和4年12月9日(金)に少し趣向を凝らした医療技術部「人材育成研修」を開催しました。

研修は1グループ5名で構成された5グループの25名を基本構成として、内容は各職位に応じた役割が果たしているかを確認しつつ自己啓発の場とすることを目的としたもので、提示されたテーマについて30分間のグループディスカッション後にグループ発表と質疑応答を行いました。普段から話す機会の少ない方々の集まりでしたが、活発なディスカッションと楽しい交流ができたと思います。



災害時対応訓練実施!!

11月19日(土)、大規模な地震により生じた多数の傷病者を受け入れる「災害時対応訓練」を行いました。今回で2回目となるこの訓練は、当院職員で構成されるDMAT(災害医療派遣チーム)の指導の下、職員や寒川高校の生徒さん103名が参加しました。



災害対策本部

病院長や幹部職員を中心に設置され、院内の指揮等を行う中心的な組織です。

患者さんや来院者の安全確認、建物・ライフライン等の被災状況を素早く正確に把握し、被災者等への的確な情報提供と、職員に明確な指示を与えることが求められます。

外来指揮所

本部と被災現場を結ぶ、最前線指揮所です。現場からの要望を本部に伝達し、本部の指示を受けて人的、物的支援をコントロールします。本部に次ぐ、重要な場所です。



トリアージエリア

傷病の緊急度などに応じて治療の優先順位を決定するエリアです。

重症度に応じて赤・黄・緑・黒のエリアに素早く正確に患者さんを選別します。



黄エリア

生命の危機は生じていないものの、早期に治療が必要な重症者等を受入れるエリアです。

通常は外来待合である一角を診療エリアに転換させ、多くの被災者の治療に当たりました。



赤エリア

直ちに治療を行えば生命の危機を脱することができる患者を収容するエリアです。

今回は、救急処置室で実戦さながらの訓練を行いました。



消火器訓練



12月20日(火)、院内保育所にて消火器訓練を行いました。皆様の安全を守るよう、引き続き防災訓練を実施していきます!



香川県立石田高等学校の生徒さんが当院正面玄関に立派な門松やミニハボタンなどで華やかな花壇を作成してくださいました! ありがとうございました!

新年お祝い花壇



「ひな祭り」について

3月になり、春が近づいてきました。ひな祭りもうすぐですね。今回、ひな祭りの由来や行事食に含まれる栄養素についてご紹介します。



由来 3月3日は「上巳(じょうし)」の節句です。「桃の節句」・「ひな祭り」とも呼ばれ、邪気を払うヨモギ入りの草もちを食べます。旧暦ではこの時期に咲き、邪気を払うとされた桃の花やひな人形を飾るほか、ごちそうを用意し、女の子の成長と幸せを願います。

ひな祭りの行事食、どんな栄養素が含まれるの？

1. 菱餅のヨモギには**ビタミンK**が豊富

→菱餅の緑色の餅には、ヨモギが使われています。ヨモギには漢方にも使われることがあるほど、栄養が豊富です。特に、血液凝固や骨の形成を助ける**ビタミンK**が豊富に含まれています。また、クロロフィルという成分も含まれており、コレステロールなどの血中脂質の上昇を抑える効果が期待できます。

2. ハマグリには**ビタミンB12**が豊富

→ハマグリは、仲の良い夫婦の象徴とされ、良縁に恵まれるようにという意味があります。そんなハマグリには**ビタミンB12**が多く含まれており、神経伝達を正常にする働きや、貧血を予防する働きがあります。

3. 白酒には**オリゴ糖**や**ビタミンB群**が豊富

→白酒とは、みりんに蒸した米、麴を混ぜて熟成させたお酒です。元々飲まれていた桃の花びらを漬けた桃花酒は、邪気を払うと言われていました。酒粕には米麴に比べ数倍もの食物繊維が含まれ、米麴には善玉菌を増やす作用のある**オリゴ糖**や新陳代謝を促進させる**ビタミンB群**も豊富です。



編集担当
栄養管理科

農林水産省「和食文化の保護・継承」参照

今月のレシピ

いちごムース

(4人前)



いちご	200g
レモン汁	8g
砂糖	28g
牛乳	32g
板ゼラチン	6g
生クリーム	32g
卵白	6g

- ① 板ゼラチンは、水(分量外)に浸しておく。
- ② いちごのヘタは除き、きれいに洗い水気を切り、裏ごしにかけ種を取っておく。
- ③ レモン汁・砂糖・牛乳と②をミキサーに入れて混ぜる。
- ④ 絞って十分に水気を切った①を湯せんで溶かし③に加え、とろみがつくまでよく冷やす。
- ⑤ 生クリームを6分立てにする。
- ⑥ ④と⑤のとろみが同じようになったら混ぜ合わせる。
- ⑦ 卵白はしっかりと泡立てておき、⑥に加え混ぜ、型に流し入れて冷蔵庫で冷やし固める。

※盛り付け用の苺(分量外)はヘタを残して4等分にし、ムースの上に飾る。